

北奥羽調査だより



「にんにくの営農状況と岩木山（藤崎町）」

● おもな内容 ●

- 土地改良区理事長の紹介
 - ／ 浅瀬石川土地改良区理事長
 - ／ 五所川原市南部土地改良区理事長
 - ／ 八戸平原土地改良区理事長
- トピックス
 - ／ スリランカ国かんがい水資源管理省の現地視察
 - ／ 現地見学会の開催（青森県立五所川原農林高等学校）
- 業務紹介
 - ／ 事務所概要（H29 年度各課業務の紹介）
 - ／ 事業実施地区の紹介「浪岡川地区」
 - ／ 調査地区の紹介「浪岡川（二期）地区」
 - ／ 調査地区の紹介「浅瀬石川二期地区」
 - ／ 国営造成水利施設保全対策指導事業の実施状況
- 編集後記



東北農政局
北奥羽土地改良調査管理事務所

農林水産省

土地改良区理事長の紹介

浅瀬石川土地改良区理事長 さいとう きみお
齋藤 公郎

～理事長就任 1 年目を振り返って～

昨年 5 月任期満了に伴う役員改選、その後の総代会で浅学非才の不肖私が理事長職を受け継ぐことになりました。

就任以来、責任の重さを痛感しておりますが「開き直り」の特技を生かし、ようやく 1 年間を終えたと実感しているこの頃です。

経緯と現状、調査と対策を総合的に判断し、農家・組合員の生産基盤の維持と生産性向上の為、微力ながら精進しなければならないと考えているところです。

各施設の老朽化に伴い管理経費の増、突発的な事故が懸念されている中、「国営浅瀬石川二期地区」が予定されていますが、今後同意徴集はじめ幾度の難問も予想されます。組合員はじめ各関係機関の一層の御指導御協力を仰ぎながら責務を全うしたいと思いますのでよろしくお願い致します。



五所川原市南部土地改良区理事長 しろと かついち
白戸 勝一

～理事長就任 1 年目を振り返って～

昨年、7 月に任期満了に伴う役員改選が執行され、組織会に於いて不肖私が理事長に選任されました。誠に身に余る光栄であると同時に、責任の重さを痛感しております。

当土地改良区では、国営浪岡川土地改良事業が昭和 63 年度に完了し、整備された基幹水利施設は、施設の老朽化による機能低下が著しく維持管理に苦慮している現況にあることから、平成 27 年に国営浪岡川・五所川原市南部土地改良事業促進協議会を立ち上げ平成 28 年度から国営施設応急対策事業「浪岡川地区」が着手されました。

今後、阿部堰地区農地整備事業（経営体育成型）の予算確保及び早期完成と土地改良区管理のため池が 28 箇所あり、数箇所のため池の整備が必要不可欠であります。

農業・農村を取り巻く情勢は大変厳しいものがございます。しかし、私たちは地域に根差した農産物の生産に取り組むとともに、これら諸課題に対しその改善に努力していかなければなりません。また、水利用率の向上、賦課金徴収など、当土地改良区の健全な運営と施設の円滑な維持管理を遂行していくためにも総代・役職員が一丸となって鋭意努力する所存でございます。

今後とも、国・県・市のご支援と事業の展開、推進のご指導を宜しくお願い申し上げてご挨拶いたします。



土地改良区理事長の紹介

八戸平原土地改良区理事長 郷州 公典
ごうしゅう こうすけ

～理事長就任にあたって～

この度の任期満了に伴う役員改選後の組織会において、図らずも理事長職を仰せつかることになり、本年4月12日付けで就任致しました。その責務の重さに身の引き締まる思いであります。



本土地改良区は、国営八戸平原土地改良事業により建設された水利施設等の維持管理団体として昭和59年2月に設立されてから今年で33年目を迎えました。国営事業は平成16年3月に完了し、その後国より世増ダムに付随する造成施設等の管理を委託され、適正な維持管理業務に努めながら今日に至っております。しかしながら、施設の維持管理には多大な経費が伴います。土地改良区の運営は大変厳しい状況下にあります。組合員の負託に応えるため、先般策定した「土地改良区体制強化基本計画」に基づき、財務管理の強化を図るほか、施設の長寿命化対策にも取り組まなければならないと考えております。

また、本土地改良区は地域に貢献する団体を目指し、土地改良区21世紀創造運動を積極的に展開しております。「ふるさと“水のみち”探検隊」、「水と土と里の集い」、「青葉湖ウォーク」、「紅葉の森づくり」等それぞれ10年以上開催しており、地域に根差したイベントとして毎年多くの市民から喜ばれております。これからもこれらの活動を通して、農業農村整備事業の重要性を多方面にPRして行きたいと思っております。

人は替われども土地改良区は変わらず・・・今後とも関係機関並びに関係者各位のご指導、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

【イベント時の様子】



▲H29 ふるさと“水のみち”探検隊



▲山川海をつなぐ水循環体験学習